

事業評価（案）

評価時点：事前評価

計画名称：社会資本整備総合交付金事業

浦和駅西口周辺地区都市再生整備計画

《都市局都心整備部浦和駅周辺まちづくり事務所》

公共事業評価調書《事前評価・社会資本総合整備計画事業》

(1) 概要									
計画(事業)の名称		浦和駅西口周辺地区都市再生整備計画							
計画(事業)の期間		令和4年度～令和8年度							
計画の目標		大目標 駅周辺における商業機能・文化機能等の集積強化・再形成や回遊性の向上などによるにぎわいの創出及び文化芸術に気軽に触れ合える機会の創出を図る 小目標① 商業機能・文化機能等の集積強化・再形成によるにぎわいの創出 小目標② 居心地が良く歩きたくなる空間づくり 小目標③ 幅広い文化芸術と気軽に触れ合えるまちづくり							
計画の成果目標 (定量的指標)		駅乗降客数							
		地域の住み心地							
		小売業の年間商品販売額の増減率							
		市民会館うらわの利用者数							
定量的指標 の定義及び 算定式				定量的指標の現況値及び目標値					
				当初現況値	中間目標値		最終目標値		
				(平成24年度～平成28年度・令和元年度)	(年度)		(令和3年度～令和8年度・令和8年度)		
		指標①	浦和駅の1日当たり乗降客数(定期利用者を除く)	64,182人/日			65,254人/日		
		指標②	さいたま市民意識調査の住み心地を問う項目に対し対象者(浦和駅利用者かつ浦和区在住者)のうち「住みやすい」及び「どちらかというに住みやすい」と回答した割合	88.3%			93.0%		
指標③	経済センサス活動調査における、小売業年間商品販売額の計画地区内町丁目に対する前回調査結果からの増減率 ※審議会の意見を踏まえて追加	35.0%			市全体の販売額の増減率+5%				
指標④	市民会館うらわの利用者数	192,745人/年			320,000人/年				
全体事業費	合計(A+B+C)	14,710(百万円)	A	14,710(百万円)	B	(百万円)	C	(百万円)	

(様式1)

(2) 交付対象事業の詳細

A 都市再生整備計画事業（都市再生整備計画事業及びまちなかウォークアブル推進事業）（基幹事業）

番号	要素となる事業名 (事業箇所)	事業種別	事業内容 (延長・面積等)	費用便益費 B/C	事業実施年度					全体事業費 (百万円)	備考
					R4	R5	R6	R7	R8		
1	浦和駅西口周辺地区都市再生整備計画事業	都市再生	A=約16ha							14,710	
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
合計（都市再生整備計画事業及びまちなかウォークアブル推進事業）										14,710	

B 関連社会資本整備事業

1											
2											
3											
合計（〇〇〇〇事業）											

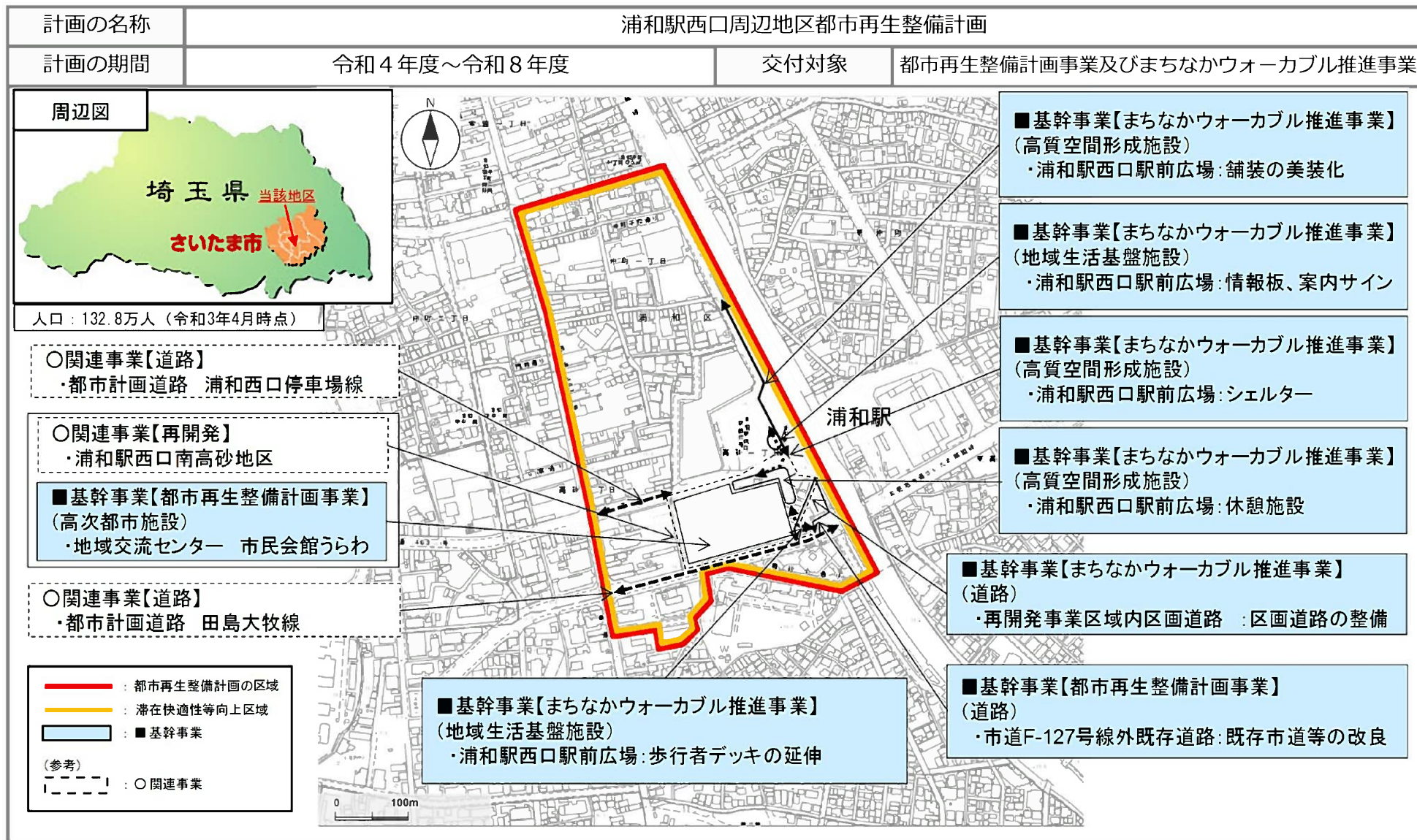
C 効果促進事業

1											
2											
3											
合計（〇〇〇〇事業）											

担当部局

都市局都心整備部浦和駅周辺まちづくり事務所
TEL：048-882-0242 FAX：048-882-9908
E-mail：urawa-machidukuri@city.saitama.lg.jp

参考図面



社会資本総合整備計画

～浦和駅西口周辺地区都市再生整備計画～

令和3年11月15日
浦和駅周辺まちづくり事務所

経緯・現状

- ・本地区を含む「浦和駅周辺地区」は、本市の都心
- ・県の行政の中心地であるほか、商業・業務機能、教育・文化機能が集積
- ・一方で、駅周辺には老朽化の進む建築物を有する
- ・浦和駅周辺地区では、都市計画道路・連続立体交差・市街地再開発事業などを推進
- ・湘南新宿ラインの浦和駅停車により交通アクセスが向上し、東西連絡通路や地下通路の開通などにより歩行者の回遊性が向上
- ・都心としてのにぎわいの創出のため、更なる交通結節機能及び回遊性の向上が必要
- ・浦和駅西口南高砂地区第一種市街地再開発事業による商業・住居・文化・子育て支援機能を有する複合施設整備を推進

課題・目標

■ 課題

- ・商業・業務機能や文化機能を中心とした都心にふさわしい高次都市機能のより一層の集積
- ・都心としてのにぎわい創出のため、更なる交通結節機能及び歩行者の回遊性の向上、バリアフリー化の推進
- ・みどりの創出やオープンスペースづくりなどによる、ゆとりある都心空間の形成

■ 目標

大目標 駅周辺における商業機能・文化機能等の集積強化・再形成や回遊性の向上などによるにぎわいの創出及び文化芸術に気軽に触れ合える機会の創出を図る

- ・小目標① 商業機能・文化機能等の集積強化・再形成によるにぎわいの創出
- ・小目標② 居心地が良く歩きたくなる空間づくり
- ・小目標③ 幅広い文化芸術と気軽に触れ合えるまちづくり

計画概要・事業内容

■ 計画期間 令和4年度～令和8年度

■ 要素となる事業の内容

事業名(基幹事業)	内容	R4	R5	R6	R7	R8	事業費 (百万円)
浦和駅西口周辺地区 都市再生整備計画	都市再生整備計画事業 →市民会館うらわ等						14,710
	まちなかウォークブル 推進事業 →駅前広場拡張部 シェルター等の整備						

・都市再生整備計画事業として、以下の事業を実施します。

市民会館うらわ



市民会館うらわを含む
再開発ビルの整備イメージ
(令和3年10月時点)

既存市道の改良



改良予定の
既存市道

事業内容

・まちなかウォーカブル推進事業として、以下の事業を実施します。

シェルター整備



歩行者デッキの延伸



情報板、案内サイン



舗装の美装化



休憩施設



区画道路の整備



指標

■ 指標1【駅乗降客数】

浦和駅の1日当たり乗降客数(定期利用者を除く)

従前値	目標値
64,182人/日	65,254人/日

■ 指標2【地域の住み心地】

さいたま市民意識調査の地域の住み心地を問う項目に関して、対象者(浦和駅利用者かつ浦和区在住者)のうち「住みやすい」及び「どちらかという住みやすい」と回答した割合

従前値	目標値
88.3%	93.0%

指標

■ 指標3【小売業の年間商品販売額の増減率】

※審議会の意見を踏まえて追加

経済センサス活動調査における、小売業年間商品販売額の計画
地区内町丁目に対する前回調査結果からの増減率

従前値	目標値
35%	市全体の販売額の増減率 +5%

■ 指標4【市民会館うらわの利用者数】

従前値	目標値
192,745人/年	320,000人/年

指標設定の考え方①

■ 指標1

【目標と指標及び目標値の関連性】

- ・浦和駅周辺の商業・文化機能等の集積による賑わいや活性化を測る指標とする。

【目標値の設定について】

- ・現況値が人口推移と同率の増加率で推移すると想定し算出（さいたま市総合振興計画における「人を呼び込み交流を促す都市インフラ」の分野に係る成果指標の設定値の考え方に準じた）

■ 指標2

【目標と指標及び目標値の関連性】

- ・浦和駅周辺の機能集積や回遊性向上、居心地の良い空間整備等による住み心地の向上を測る指標とする。

【目標値の設定について】

- ・過去5年間(H27～R1)における住みやすさの動向から、最高値である「93.6%(H28)」をもとに設定

指標設定の考え方②

■ 指標3 ※審議会の意見を踏まえて追加

【目標と指標及び目標値の関連性】

- ・駅周辺の回遊性・滞在性が向上し、まちなかに来訪者が滞留することによる区域内の小売業の販売額増加を測る指標とする。

【目標値の設定について】

- ・平成24年度から平成28年度における市全体及び区域内の小売業の販売額増減率の実績に基づき算定

■ 指標4

【目標と指標及び目標値の関連性】

- ・市民会館うらわの移転による文化芸術と気軽に触れ合える機会の増加を測る指標とする。

【目標値の設定について】

- ・平成30年度の実績に基づき、1席又は1 m²あたりの利用者数を求め、新たな施設の定員数や面積を乗じて算定

関連事業

基幹事業と以下の関連事業を連携し、目標達成を目指します

